



神奈川県議員
き さ き
木佐木 ただまさ
日本共産党

いのちとくらし
守る政治をご一緒に

<プロフィール>

- 神奈川大学法学部卒
- 元法律事務所職員
- よこはま健康友の会副会長
- 横浜東民商顧問
- 弓道初段 1984年生まれ

日本共産党の「平和のための5つの緊急提案」 平和を守るために力をかしてください!!

今、安倍首相は憲法への自衛隊明記に執念を燃やしています。「自衛隊の権限・任務は変わらない」といいますが、一度憲法に自衛隊を明記すれば、戦力保持を禁止した9条2項の空文化=死文化に道を開き、海外での武力行使が無制限になってしまいます。

国民が望んでもいないのに、権力を握る政権・与党が、自らへの制約をとりはらう改憲議論を強引に推し進めることは、立憲主義の否定です。

私たち日本共産党は、今求められているのは、憲法を変えることではなく、憲法を活かした外交を展開し平和な日本を築く努力をすることだと考えています。

1. 安保法制をはじめ一連の違憲立法を廃止し、立憲主義・民主主義を取り戻すことです。

安保法制などによって、自衛隊の任務や位置づけが大きく変わり海外派兵の動きなどが相次いでいます。これが日本に新たな危険をもたらすものとなっており、安保法制を廃止することは急務です。

2. 大軍拡計画を中止し、軍縮への転換をはかることです。

防衛省の2019年度概算要求は、実質総額で5兆5000億円超にふくれあがっています。「専守防衛」の原則すら逸脱した海外派兵のための武器購入は中止させなければなりません。

3. 在日米軍に異常な特権を与えている日米地位協定の抜本改定をはかることです。

米軍に、全国どこへでも部隊を自由に配備し、国内法も無視して自由に訓練するなどの異常な特権を与えている国は、世界で

も日本だけです。米国内では、動植物に配慮して行わない訓練も日本では平気でやっています。国民のいのちと財産を守るためにも一刻も早い改定が必要です。

4. 「北東アジア平和協力構想」の実現に力をつくすことです。

北東アジア規模でのTAC（友好協力条約）を結び、あらゆる紛争問題を平和的な話し合いで解決することを締約国に義務づける構想です。すでに、2005年の「6カ国協議の共同声明」、2011年の東アジア首脳会議での「バリ原則」宣言などで、関係国はこうした方向に合意しており、決して不可能な道筋ではありません。そのためにも、朝鮮半島の平和への道筋に全力を尽くします。

5. 核兵器禁止条約に日本政府が署名、批准することを強く求めることです。

人類史上初めて核兵器を違法とする核兵器禁止条約が採択され1年が経ちました。国内では、すでに320以上の自治体で、核兵器禁止条約への調印・批准を日本政府に求める意見書が採択されています。しかし、日本政府は、いまだに調印・批准をする立場に立とうとしません。唯一の被爆国として情けない限りです。核兵器のない世界を未来に引き継ぐために、日本政府の条約へのサインを求めています。

この5つの緊急提案実現に向けて、多くの国民と野党との連携が大事になっていきます。誠実に平和を願い、目指す日本にするために、地方からも声を上げていきましょう！ぜひ力をかしてください。



平和のための緊急提案

戦争法
**安保法制など
違憲立法を廃止**
立憲主義・民主主義を取り戻す

**大軍拡計画を中止
軍縮への転換を**

在日米軍に異常な特権を与えている
**日米地位協定の
抜本改定を**

**北東アジア
平和協力構想
実現へ**

**核兵器禁止条約へ
日本政府の参加を**